

あなたの1票を

いとう淳一

に託してください

1/31
市議選

【いとう・じゅんいちプロフィール】

1951 年生まれ ● 木屋瀬小・中学校、県立直方高校卒、健康文化会・衛生検査技師学校卒 ● 公益財団法人健和会勤務 40 年、診療技術部長、戸畑けんわ病院事務長など歴任 ● 元木屋瀬新地町内会長、元木屋瀬自治区副会長



日本共産党

市議会議員候補（八幡西区）

医療・介護の専門家 コロナ対策に全力

いとう淳一さんは、民医連（民主医療機関連合会）健和会病院に 40 年以上働き、診療技術部長、教育委員長などをつとめた「医療・介護の専門家」です。

保健所や市立病院を減らしてきた北九州市政。コロナ危機で、その脆弱さが浮き彫りになりました。いとう淳一さんは医療出身者として強い怒りを覚え、ケアに手厚い市政へと全力をあげています。

臨床検査技師として



いまコロナの PCR 検査で注目をあびる臨床検査技師。いとうさんも臨床検査技師として医療の最前線で活動してきました。

おこ

まち興しに情熱 親子2代で山笠を曳く

いとう淳一さんは、生まれも育ちも木屋瀬地域。

筑前木屋瀬祇園には、父親の静雄さんと一緒に 1 歳で木屋瀬山笠を曳いてデビュー。以後、地元のみなさんと協力して参加してきました。

また、木屋瀬新地町内会長

や木屋瀬自治区副会長をつとめてきました。お年寄り・若い人・子どもたちなど、地域の人々の結びつきがまちをつくっていることを感じて、積極的にまちづくりに参加してきました。

証紙



田中光明市議から バトンタッチ!

感想は ☎613-5884

下関北九州道路よりも

コロナ対策・暮らし 応援を最優先に!



日本共産党

コロナ「第3波」のさなかの昨年12月、国は「下関北九州道路」建設に3500億円を投じる計画を公表。「こんな時に税金を大型開発に使っている場合じゃない」と批判が広がっています。「下北道路よりコロナ対策、市民生活を最優先に」の願いを私に託してください。

コロナ対策

私は、感染が広がる地域や病院・介護・福祉施設などでの検査が誰でも無料で受けられるようにします。



また、市内で1つに減らしてしまった保健所を各区に復活させ、感染が追跡できる「トレーサー」を配置します。事業者への休業・時短要請は必ず補償とセットで行わせるようにします。コロナ禍を口実にしたりストラ・派遣切りを許しません。

市民の暮らし応援

タクシーにも使える
高齢者福祉乗車券

18歳まで医療費

窓口負担ゼロ

学校給食を無償に

全学年で35人学級

返済不要の奨学金 若い人を応援

最低賃金引き上げ

中小企業支援とともに、国に要求

**地域経済
を元気に**

住宅リフォーム助成制度、商店街リニューアル制度などで地元中小業者に仕事を回し、公契約条例で市発注の仕事の賃上げをはかります。

新しい議会できっとくみまます
いとっつ^{じゅん}淳^{いち}にあなたの一票を

野党連合政権で
政権交代を!
この流れ、北九州から